

長岡市長賞

納める税と使っている税

長岡市立川口中学校

三年 綱心優

みなさんは税金についてどう思っていますか。私たちが暮らしていくなかで税金を納めたり使ったりしています。税金には五十個の種類があります。そのなかでも一番私たちの身近なものに消費税があります。消費税とは、商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金で、他の税とは異なり世代や就労の状況に関わらず、広く国民のみんなに負担をおねがいする税金です。昔は8%の消費税を納めていましたが、今では10%の消費税を私たちは納めています。

現在私たちが納めている税金はどのように使われているのでしょうか。主に、公共施設や公共サービス、医療、教育などに使われています。私たちがけがをしたり、病気にかかったときに税金で医療費が安くなります。また、学校の体育館や教室の机やイス、授業で使う教科書やパソコンなども税金が使われています。また、税金は貧困や失業などの社会を解決するために使われています。税金はいろんな物に使われていて、私たちの生活を支えてくれているのです。

もし、税金がなくなってしまうたら私たちの生活や日本はどうなってしまうのでしょうか。税金がなくなるということは公共サービスがなくなってしまうということで、救急車や公園・交番が有料になり、さらに、医療費を全額自分で支払うことになってしまいます。また、日常生

活にかかせない道路や橋などを税金を使って整備して、生活を便利にしています。道路や橋などは毎日車や人が行き来することで痛んでいきます。ですが税金がなくなったことで、道路や橋を修理するお金がないので、道路や橋が壊れたまま放置されてしまったり、修理した人から通行料の支払いを求められたりするかもしれません。

今まで、ふつうに使っていた公共サービスは税金で支払われていて、どんなに税金が大切なのがわかってきます。

しかし、税金には問題もあります。一つ目は社会保障の費用が増えていくことであり、もう一つは、その費用を負担する働き手が減っていくことです。これらを改善するために消費税が社会保障財源として使われています。なぜ消費税が使われているかというと、特定の世代に負担が集中せず、税収が景気などの変化に左右されにくく安定しているからです。

このように、税金は私たちの生活を支えてくれて、とても大切なものだと思います。